

学校関係者評価委員会 報告書

- 1、開催日 平成26年 3月 3日（月）
- 2、開催場所 幼稚園応接室
- 3、出席者 評価委員5名  
園長 教頭 園長代理

□概評

四條啜学園の建学の精神・教育方針・教育理念にそって、幼稚園では幼時期における教育について生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである事を踏まえ、幼児期の特性を考慮しながら個々の創造力と豊かな感性を育むために、幼児期にしかできない事を考えた教育目的・教育目標をもって保育を実践していると高く評価できる。今後もこの姿勢を堅持して取り組んでくださる事を望みます。一人ひとりの個性を大切に受け止め有意義な体験（園内・園外）ができる機会を増やし、安定した情緒の下で自己を十分に発揮して、園児の主体的な活動を積極的に促し園生活が展開されていると感じる。

◇幼稚園運営については、教育目的・教育目標にそって教職員が熱心に指導している事が理解できる。子どもの気持ちや保護者の気持ちを大切にして連絡を密にして取り組んでいる教職員の努力に感謝したい。保護者にとって教職員は相談しやすく、子どもは教職員に親しみ慕っていることに繋がっていると思われる。しかし、中には少数意見であるが声をかけにくかったり質問に対してきちんと応えられなかったりする教職員もいるので、全教職員が共通の意識をもって相談しやすい雰囲気作りにも注意していただき細やかな対応ができるよう今後は一層連携を深めていただきたい。

◇保育内容については、自己評価の通りである。心身共に調和のとれた内容を内外の研修会参加や日々研究している教職員の熱心な取り組みが大変評価されたと感じる。幼稚園生活の中で子どもに育てほしい事や集団生活で育つ園児の成果を保護者に知らせ理解を促していただき、一層向上するよう努力を期待したい。そして、家庭でもその姿が反映していくことを望むところである

◇園児の指導については、特に基本的な生活習慣の形成を図り重視しながら熱心に課題に即した指導をされているものと評価する。園生活や家庭生活の体験・経験から自立心が育ち、またたくさんの人とかかわりから思いやりの心も育っていると感じる。幼稚園でできている事が家庭でもできているかについては、家庭（保護者）とともに協力しながら継続し実践していただきたい。また、公共の場でのマナーは親子での意識が高まるようまた、クレームなどがないように今後も保護者と共に取組みを強化していただきたい。

◇教職員の研修・資質向上については、園内研修会を行う事で保護者の協力もあってできる事なのでその旨も含んでいただきたい。しかし、子ども一人ひとりの特性を的確に把握した指導については期待が高く引き続きその取り組みに期待したい。

◇まとめ

今年度も子ども達の成長している表情や姿から喜びを感じている保護者が多いと思う。教職員の細やかな行き届いた対応の有無で保護者の評価に変動があるので、今後もより良い幼稚園を目指す教職員全員であってほしいと期待し一層の努力を高めていただきたい。